

2025年12月3日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

東京大学（証券コード：－）

【維持】

発行体格付： AA+ [安定的]

債券格付： AA+

【格付理由】

日本で初めて設立された国立大学。指定国立大学として日本の教育研究活動を先導する。大学院は国内最多の学生数を擁し、法人全体の資産、収益面では国立大学法人の中で群を抜く存在となっている。規模の大きな大学（特定国立大学法人）に分類され、運営方針事項（中期目標・中期計画及び予算・決算）の議決や法人運営の監督を行う合議体（運営方針会議）を設置する。教育政策上の極めて高い重要性に加え、東京大学自身の事業基盤の強さを評価に反映し、格付は日本ソブリンと同格としている。

大学を主とする教育機関は教育と研究、社会貢献に資する公共財として重要な役割を担う。とりわけ国立大学は高等教育の実行機関として多額の国費投入を受けるなど、政策上の重要性が極めて高い。法人化以降、政府は国立大学に自律的運営の確保を求め、各種のサポート策を講じて後押ししてきた。両者の緊密な関係に変化は予想されず、国立大学法人は政府系機関として強固な信用力を備える。少子化の進展、運営コスト増加への対応などの課題が生じており、政府の施策と個別法人の対応状況を確認していく。

東京大学は2027年に創立150周年を迎える。日本を代表する高等教育機関で、海外でも高い知名度を誇る。官民両分野で中枢を担う優秀な人材を輩出し、ノーベル賞などの学術的榮譽に浴した卒業生も多い。受託研究や共同研究は件数・金額ともに年々増加しており、寄付金も含めた外部資金獲得額では他の大学を引き離す。社会課題の解決やイノベーションの創造を志向し、トップ自ら民間企業首脳と交渉し、多くの合意に結び付けてきた。2025年度には台湾TSMCと産学協創協定を締結したほか、スタートアップ企業創出のため、三菱商事から寄付を受け、支援プログラムを整えた。東京大学関連ベンチャーは2024年度に累計638社を数え、上場を果たした企業も少なくない。

附属病院は「特定機能病院」や「臨床研究中核病院」などの指定を受け、国立大学法人の中でも、トップクラスの規模を有する。日本の高度医療・先端医療をけん引しており、臓器移植医療で名をとどろかせている。もっとも、経営環境は厳しく、収支は圧迫されている。物価や人件費の上昇、高度医療提供に伴うコスト増などが響き、2024年度の業務損益は赤字を余儀なくされた。病床稼働率の引き上げやコスト削減の深掘りといった自助努力を進めているものの、抜本的な経営改善は容易ではなさそうだ。政府も手をこまぬいているわけではない。大学病院の機能維持・強化に向け、現政権は財政支援を含む多角的な支援に舵を切った。その効果と病院収支の動向が注目される。

「公共を担う組織体」として世界に貢献することを目標に、大学の成長モデルの確立をビジョンに掲げる。実現には優れた教学運営と法人経営が求められ、透明性の高いガバナンスとマネジメント力が欠かせない。教学面では学術経営本部を設置してプロボスト（教学担当責任者）を支える体制をとり、経営面では法人戦略コアグループを新設し経営方針や資源配分などを協議する体制を整える予定だ。同グループは総長、プロボスト、CFO（最高財務責任者）、企画調整担当理事（仮称）、CoS（チーフオブスタッフ）を含む5名程度で構成され、戦略的かつ迅速な意思決定の実現を目指す。国際卓越研究大学の第2回公募に申請した8校のうち、現地視察の対象となった6校には東京大学が含まれている。2025年度中に公募の結果が公表される見通しだ。認定取得へ向けた各種施策と、認定結果に着目していく。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。



NEWS RELEASE

【格付対象】

発行者：東京大学

【維持】

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	AA+		安定的	
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第1回東京大学債券	200億円	2020年10月16日	2060年3月19日	AA+
第2回東京大学債券	100億円	2021年12月22日	2061年3月18日	AA+
第3回東京大学債券	110億円	2024年12月23日	2064年3月20日	AA+
第4回東京大学債券	10億円	2025年6月20日	2045年6月20日	AA+
第5回東京大学債券	75億円	2025年6月20日	2055年6月18日	AA+
第6回東京大学債券	90億円	2025年6月20日	2065年3月20日	AA+

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

©Rating and Investment Information, Inc.

信用格付に関わる事項

格付関係者	東京大学
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2025年12月3日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]、事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、学校法人 [2024/05/22]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が発行金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について 代表して責任を有する者	後藤 潤
信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

©Rating and Investment Information, Inc.